

「住んでみて感じた諏訪市の魅力」

私は大学卒業後、東京のリース会社に就職しました。社会人1年目の夏に会社の同期と旅行を計画し、その時に訪れたのが長野県諏訪市と八ヶ岳の裾野に広がる原村でした。諏訪市では湖でのカヤック体験、立石公園からの壮大な眺め、原村では満天の星を見たり、美味しい料理を食べたりと自然を満喫した最高の旅行になりました。

その思い出が忘れられず、翌年の夏に再び訪れました。それがきっかけとなり、私にとって諏訪圏は家でも、仕事場でもない「第三の場所」となり、何度も足を運ぶようになりました。旅行のプランに必ず入れていたことが、諏訪湖でのカヤック体験。ガイドをしてくださった先輩移住者Dさんは諏訪で生まれ、東京で就職したのちに長野県への愛を捨てきれずにUターンし、地元でこの「諏訪湖カヤック」を起業した方です。

Dさんが語る諏訪への熱い想いやビジョンを聞くうちに、私もどんどん諏訪のことが好きになっていきました。一方、東京での仕事では新型コロナウイルス感染拡大の影響からテレワークになることも増え、自分と向き合う時間が多くなりました。そんな時にDさんから「一緒に働きませんか」とお誘いをいただき、住みたい場所でやりたい仕事ができる。こんなチャンスは2度ないと、思い切って諏訪圏への移住を決意しました。

実際にカヤックガイドとして諏訪で働いてみて、改めて諏訪は良いところだなと実感しています。カヤックに乗って湖上に浮かび、眺める景色は格別。「自然」と「人の生活」が密接に交わりながら生まれた風景は唯一無二です。「よそもの」の私だからこそ分かる諏訪の魅力をカヤックを通してお伝えしていきます！

